

関係各位

株式会社あすか製薬メディカル

2026年7月

プロスタグランジン(PGE2, PGD2, PGF2 α)同時測定の受託開始のお知らせ

この度、LC-MS/MSによる受託測定として、プロスタグランジン3種(PGE2, PGD2, PGF2 α)の同時測定を開始いたしました。

必要検体量 : EDTA 血漿^{※1} 0.3 mL 以上 (凍結)

測定範囲 (血漿 0.2 mL 使用時)

プロスタグランジン E2 (PGE2) : 1~2000 pg/assay (5~10000 pg/mL)

プロスタグランジン D2 (PGD2) : 2~4000 pg/assay (10~20000 pg/mL)

プロスタグランジン F2 α (PGF2 α) : 2~4000 pg/assay (10~20000 pg/mL)

※1 本検査はヘパリン血漿および、血清でも測定可能ですが、測定値に影響を及ぼす可能性があるため、EDTA 血漿の使用を推奨いたします。また、凍結融解は測定値に影響を及ぼす原因となる可能性があるため避けてください。

プロスタグランジンは、体内においてアラキドン酸から産生される脂質メディエーターであり、炎症反応や血管調節、平滑筋機能、子宮収縮機能など、多岐にわたる重要な生体機能に関与することで知られています。中でも、PGE2、PGD2、PGF2 α の3種は代表的なプロスタグランジンとして知られ、それぞれ異なる生理作用を担っています。この度、弊社ではプロスタグランジン3種(PGE2, PGD2, PGF2 α)を同時に測定するLC-MS/MS測定法を開発しました。皆様のご研究に是非お役立てください。

<お問い合わせ先> 株式会社あすか製薬メディカル 業務管理部

TEL : 0466-32-7218 FAX : 0466-26-5879

E-mail : kensa-med@ap-med.co.jp